

○「青森ヒバ林復元プロジェクト現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署の現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成30年10月5日(金)に下北森林管理署管内のむつ市大畑町二階滝国有林で開催された、下北流域森林林業活性化センターと青森ヒバ林復元プロジェクト連携推進協議会の共催による現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

今回の検討会場はスギの列状間伐を予定している箇所にヒバ稚幼樹や広葉樹が自然発生している、今年度の生産事業箇所であり、その稚幼樹の取扱いなどを現地で検討しました。

まずは林道上で本プロジェクトや現地についての説明があり、その後、参加者全員で林地内を踏査し、ヒバなどの状況を確認したうえで、意見交換を行いました。

また、スギの間伐作業で、伐倒から造材までの実演が行われ、ヒバ稚幼樹に配慮して行っているということを実感しました。

青森ヒバは貴重な資源であり、青森ヒバ林の復元していくことも重要な施業の一環と考えますので、本プロジェクトの成功を祈っております。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。



事前説明



林地内



スギの間伐